

決定

「男女がともに歩むまちづくり推進モデル」 「男女がともに歩む」一行詩優秀作品

「男女がともに歩むまちづくり推進モデル」と「男女がともに歩む」一行詩の優秀作品について、紹介します。これは「男女共同参画宣言都市・ふくつ」として、毎年行っている取り組みの一つです。

「男女がともに歩むまちづくり推進モデル」
市では「福津市男女がともに歩むまちづくり基本条例」に基づいて、家庭、地域、職場、学校などで「男女がともに歩むまちづくり」を積極的に進めている住民や団体、事業者などを「推進モデル」として推奨しています。今年度は、次のかたがたを「推奨モデル」に決定しました。

性別にとらわれず能力に応じて適材適所を

◆特別養護老人ホーム津屋崎園(職員数53人)

津屋崎園は、昭和53年に高齢者福祉施設の拠点として開園されて以来、さまざまな介護の相談や要望に応えながら地域貢献をされ、地域に深く浸透、35年にわたり愛され続けています。元来、介護の職場は女性が多いことから「女性が働きやすい環境づくり」という方針のもと「産休・育休制度の充実」「介護休業の整備」や就学・就園の子育てに必要な休暇の取得にも積極的に応じられ、「ふくおか子育て応援

企業」にも登録されています。近年、男性職員が徐々に増えていく中で、性別により職種を固定することなく、能力に応じて最適な就業環境を整え、管理職への積極的登用も実施されています。



男女ではなく共に活動する仲間として

◆福津郷土史会(会員数21人)
昭和44年、津屋崎町郷土史研究クラブとして結成されて以降、長年

にわたり、郷土の歴史や文化財の調査・研究、伝承活動に活発に取り組んでこられました。平成19年には市内の神社・仏閣に眠る貴重な歴史文化遺産の絵馬を全て調査し、解説を付け、「福津市の絵馬」として出版。平成22年3月には「吉原文書追加目録」も出版されました。会員は地元以外から移り住んだ人も多く、開放的な会の雰囲気があります。また、歴代の会長職は男性ばかりではなく、女性も就任されています。男性・女性として区別することなく、郷土を愛する人、そして同じ目的に沿っ



て活動する仲間として和気あいあいと活動されています。

◆吉原隆信さん、吉原久美子さん

隆信さんは長年、福間町子ども会育成会連合会長をはじめ、原町3区区长、郷づくり協議会の副会長など地域の重要な役割を担ってこられました。久美子さんもまた、婦人会活動を続けられながら、民生委員として地域福祉のために力を尽くされました。廃油せつけんづくりでは、環境活動のリーダーとして長年、仲間を引っ張ってこられました。このようにお互いの立場を尊重し、協力し合って、地域でそれぞれができることを精一杯頑張ってきています。また、その一途で誠実な態度で多くの人たちとの信頼関係を築かれました。



いつもパートナーを大切に、地域を大切に活動されていて、まさに「男女がともに歩むまちづくり推進モデル」としてふさわしいお二人です。

平成24年度「男女がともに歩む」一行詩 優秀作品

市内の各小学校・中学校・高校から応募された「男女がともに歩むまちづくり」への思いや夢などを「一行詩」として表現した作品の中から、今年度は以下の19作品が優秀作品として選ばれました。どの作品も、日ごろから身の回りで感じていることなど、さまざまな思いが詰まった作品です。

思わずほほ笑んだり、「うんうん」とうなずいたり、「あっ!」と気付かされたり、「ドキッ」としたり、皆さんは、これらの作品から何を感じましたか?

小学生の部

- 『男女力を合わせて協力すれば何でもできる』 小島 美有さん(勝浦小学校5年)
- 『差別なく サッカー、野球、女も男もだれでもやっていい』 岡崎 勇樹さん(上西郷小学校5年)
- 『ぼくがする わたしがやる いろいろなしごとがあるけど みんないっしょに力をあわせて!!』 岡部寿里亜さん(神興小学校4年)
- 『自分の人生を「女の子だから」「男の子だから」の魔法の呪文にまどわされないで』 山内 香凛さん(神興東小学校5年)
- 『男らしい 女らしい そんなのどうでもいい 自分は自分 あなたはあなた それが一番いいのです』 西岡 郁也さん(津屋崎小学校5年)
- 『今、きみがしたこと、自分らしくていいよ』 古賀 美紀さん(福間小学校5年)
- 『男のいろ 女のいろ きまっていない 自分らしい いろが一番いい』 中村 蓮多さん(福間南小学校5年)

中学生の部

- 『これからの 未来をつくる僕たちに 男も女も関係ない』 赤司 夏生さん(津屋崎中学校3年)
- 『一人の男じゃなくて 一人の女じゃなくて 一人の人間として』 谷口 瞳威さん(津屋崎中学校3年)
- 『赤、黒、黄色 自分好みのランドセル』 林田 滯さん(福間中学校3年)
- 『仕事のできる母が好き 料理のできる父が好き』 梅崎 亜希さん(福間中学校3年)
- 『女らしさ 男らしさ そんなの関係ない 自分らしさ』 寺本 紡乃さん(福間東中学校3年)
- 『休んでいいよ、僕がするから 家事・育児』 正路 大晟さん(福間東中学校3年)

高校生の部

- 『お互いの いいところ見つけ わかち合う』 水之浦怜愛さん(光陵高校1年)
- 『性別で 給料違うの よくないな』 島田林太朗さん(光陵高校2年)
- 『男と女 生まれる前は みな同じ』 北川 智基さん(光陵高校3年)
- 『父の味 母の味には勝てないが、不思議な味がする』 桑原 翔さん(水産高校1年)
- 『男女とも協力しあって築こうよ、明るい未来を』 堀口いずみさん(水産高校1年)
- 『いつ生まれるかな 女性の総理大臣は!』 屋久 智晃さん(水産高校1年)

表彰・推奨式は12月8日(土)です

「男女がともに歩む」一行詩の優秀作品の表彰式および「男女がともに歩むまちづくり推進モデル」の推奨式を、市主催の人権講演会で行います。ぜひ、ご参加ください。

【スケジュール】

- 13:00~13:20 表彰・推奨式
- 13:30~15:00 人権講演会 〈講師〉家田荘子 さん
〈演題〉「一緒に生きて行こう」～あなたの愛を求めています～

【会場】 市中央公民館

【問い合わせ】 市男女共同参画推進室(福間庁舎) ☎43・8116